

英語**【解答】**

I	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	a	b	c	b	c
II	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	b	a	d	d	c
III	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	d	a	a	d	c
IV	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	b	a	b	d	b
V	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	d	c	b	b	a
	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
	b	a	c	a	c
VI	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	c	a	c	a	d

【学習アドバイス】

2021年度の入試問題も前年度同様、Ⅰ. 会話問題、Ⅱ. 適語補充問題、Ⅲ・Ⅳ. 長文読解問題、Ⅴ. 文法・語法問題、Ⅵ. 整序英作文の大問6題構成であった。全問マークシート形式の選択問題で、連続する100分で2科目を選択し解答することとなるので、解答時間の目安は50分程度である。試験時間に対し、無理なく解答できる問題数であると言える。

難易度は、概ね高校英語標準～発展レベルであり、高校で学習する語彙・熟語、文法・語法などの基本事項の徹底はもちろん、応用・発展問題にもある程度正解できることが要求される。それでは、各大問の特徴を踏まえて対策を考えていこう。

Ⅰ. 会話問題は、基本的な口語表現の理解を土台とし、会話における文脈理解を問う形式である。高校終了時までに学習する知識があれば、発話の意味は理解できるが、会話全体の流れを阻害することのない選択肢を選ぶ必要がある。正解以外にも、空欄に入れられそうな選択肢を設けている問題もあるので、会話のやり取りや流れを正しくおさえて正解を導くと良い。

Ⅱ. 適語補充問題は、2～3行の英文内の空所に適切な語を選択する形式である。各選択肢の品詞が統一されているため、語意をきちんと押さえておく必要がある。正解となる語は高校必修～入試標準レベルなので、過度に心配する必要はない。対策としては、入試標準レベルの単語集にあたり、それぞれの語法(単語の使い方)を例文や辞書などでおさえておくが良い。

Ⅲ・Ⅳ. 長文読解問題は、標準的な語を用いたやや短めの英文が題材として選ばれており、テーマも付されて読みやすい。問題は、適語句空所補充問題、文挿入問題、下線部同意表現選択問題、内容一致問題が主に出题されている。難度が高めの語には語注があるが、語注の付されていない難しめの語が用いられていることもある。内容一致問題は、文章中の細かい内容に関する真偽を問う選択肢が主であるので、文章を読む前に選択肢に目を通しておくが良い。今年度の問題形式の中で最も特徴的なのは、文章中に散見される西暦表記から、下線部の内容が起こった年を選ばせる問題であった。そこから考えても、長文問題の最も有効な対策は、日頃から英文を読んで親しんでおくことであるが、それと同時に、内容を理解するために必要な情報をメモする癖をつけると良い。これまでに読んできた教科書やテキスト、問題集の英文を繰り返し読みなおすことから始めるだけでも効果的である。

Ⅴ. 文法・語法問題では、品詞の理解や時制などの基本的な文法・語法力のような文法構造を捉える力が問われている。様々な文法分野から出题されているが、各分野の基礎力を問う問題が中心である。まずは、学校で使用した文法テキストをくまなく復習して、基礎を完璧にしておく必要がある。下手に上級レベルの問題集に取り組むよりも、基礎問題で絶対にミスをしない力を培う方がはるかに大切である。

Ⅵ. 整序英作文問題は、和文が与えられている形式であるため、比較的英文が作りやすいように見えるが、日本語特有の表現が使われる傾向があり、完成する英文の概要を表したものと捉えた方が良い。それよりも、選択肢をSVOCなどの文法に従って並べかえられるように訓練することが有効である。その上で、並べた英文の意味が和文の意味と合うかどうかを判断するように訓練していきたい。もちろん、入試標準レベルまでの並べ替え問題にあたるに越したことはない。

本学の入試問題は、すきのない基礎の力が要求されている。言い換えれば、日々の学習を怠らず、定期試験ごとの振り返りを大切に、折に触れて復習する「ひたむきな学習」が合格の秘訣である。安易に学習塾や予備校に通う前に、今まで学習してきたことを総復習して基礎力の点検をすれば、合格するためにやるべきことが自ずと見えてくるはずである。今来た道が近道、なのである。